



## ☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		興味を持つ人が多い内容をわかりやすく提供している。
総合評価	A	

委員②		地元の高校とのコラボ企画というところに、興味を持ちました。高校の書道部員が講師なので、技能の専門性も高く、また高校生にとっても自分の学校を地域にアピールできるという意義があると感じた。課題に書かれているが、部員数や活動スペースの問題で募集人数に制約が出てしまつのはやむを得ないと考える。また、佐倉学と繋げた事業にすることもねらいの一つに入っていたようだが、そこまで幅を広げるのは逆に難しいと感じた。書写の授業で筆をひぎったり、冬休みの宿題で書初めを書いたりすることはあっても、大筆でのびのびと書道に触れる機会はなかなかないので、企画としては良かったのではないかと。
総合評価	A	

委員③		高校生講師で小中学生参加は、地元高校への興味関心を沸かせる良い視点だと思う。調理科、被服科なども発表や講習会のパターンを増やせると思う。課題は参加人数といえる。
総合評価	A	

委員④		文字を単に書くだけと違って、音楽に合わせて踊る様子や大筆を用いてのダイナミックな動作を観るだけでも、楽しかったと思う。併せて、書きたい文字を話し合い自分たちで決め、実際に大筆で書く体験もできたので書に対する興味もわいたと思われます。この活動を通して、高校生、参加した児童・生徒の自己肯定感やコミュニケーション能力向上の一助になったのではないのでしょうか。無理に、香川松石の紹介と結びつける必要は無いと思う。これだけで十分だと思います。
総合評価	A	

委員⑤		人数をもう少し増やせると成果が出るかと。ただ高校生とのコラボはすごく良いと思いました。
総合評価	B	

委員⑥		すばらしい事業でした。講師である高校生、教えてもらう小中学生、共に教え教えられる喜びを肌で感じることができました。大筆を使ったパフォーマンスはすばらしい作品となり夢咲くら館で展示され、伝統文化に対する関心を高めることができたと思います。
総合評価	A	

委員⑦		講師役の地元の高校生、日常生活では叶わない経験ができた子どもたち、双方にとって楽しい時間のようでした。大人が冠婚葬祭の折り熨斗袋に名を記すことはあっても、表彰状や感謝状などに記された受章者の名前さえ直筆にお目にかかることが少なくなった昨今、書道の存在感は著しく低下しています。写真に見える参加児童が書いた「希望」や「星空」などの文字の筆致から察するに、日頃から書道に関心がある児童もいることを窺い知りましたが、この事業によって子どもたちの書道熱をさらにヒートアップできますかどうか。そうなれば嬉しいなと思います。茶道、華道、香道など「道」の付く多くは静寂の中で自分と対峙する時間と教わってきた者にとって、ここは割り切って、書道の形を借りた楽しいイベントと考えてみました。資料にも書いてありましたが、佐倉の偉人に取り上げられる書家、香川松石に触れられなかったのは残念です。どんな習字手本を書いた人物なのか資料を紹介しながら、日本人の暮らしと密接だった美しい筆文字の世界を鑑賞する、そんな時間が10分でもあればさらなるファンを増やせたかも。時間的余裕があれば、この機会に漢字や仮名文字の変遷や、筆のバラエティーなど義務教育では扱わない分野まで勉強できたらいいなと思います。この事業を通して一番勉強になったのは高校生だったかも知れません。
総合評価	B	

委員⑧		○素晴らしいことは、高校生の活躍の場が確保されたことです。参加者も小学生と中学生に絞り、公民館が大人になってからも活用できる施設として認知・記憶されていくことは大切です。 ○毛筆が楽しく書ける場、ワクワクする場面として設定できたこともいいです。ただ、参加人数が限られるので、回数を増やすのもありかなと思います。
総合評価	A	

委員⑨		高校生を講師にして小中学生に「書道パフォーマンス」を教えるという事業は、青少年教育というジャンルにふさわしいと思います。課題に掲げられた香川松石の紹介ができなかったことは残念ですが、進め方として座学的なことを実施した後に実技に移るようにしたほうがよいと思います。
総合評価	A	

委員⑩		佐倉東高校書道部との連携「書道パフォーマンス」事業は、活気のある素晴らしい企画でした。参加児童・生徒の練習では、大筆をびっくりするほどうまく使い、自分の名前や好きな字を自由に書いている姿に感心しました。また、清書で書いてもらう漢字を児童・生徒に決めてもらうなど、自主性を尊重する企画でもありました。佐倉東高校書道部員は児童・生徒に寄り添った指導を行ない熱意も感じられ、企画に参加した部員達の公民館事業への参加意識の高揚にもつながると思います。費用の面があると思いますが毎年継続していただきたい事業です。
総合評価	A	

委員⑪		高校生を講師にしたのは大変良いことです。続けて下さい。（講師になることは有意義なことです。） 但し参加費について、受益者負担の考えもあるが、公民館主催事業であること、参加者が未成年者であること、成果品が個人のものでないこと等、無料にしてもよいのではないかと思います。 ◎公民館主催の講演会等資料代、講師代等は現在、受益者負担になっていない。しかし、本例から参加者負担について検討してはどうか。
総合評価	A	

委員⑫		長い間課題となっている若者の公民館参加に視点を置いた、素晴らしい内容の事業だと思います。写真からも高校生、児童ともに楽しく事業に参加している状況が窺えます。ただ、この事業により、若者の意識を公民館に向けてるのであれば、まず、「高校生の公民館に対するイメージ」とは何かをしっかり把握することが必要であり、それにより、最終的には多くの若者から自主的に事業企画を公民館側に提案できるようになれば理想的であると思います。
総合評価	B	

委員⑬		1. 今までにない事業で新鮮さがある。 2. 高校生が先生になって真剣。小学生も真剣に取り組んでいたのが良かった。 3. 出来栄もパフォーマンスも素晴らしく、みている方も感動しました。 4. この事業を佐倉市生涯学習チャンネルで見られる点は良かった。佐倉市生涯学習チャンネルの視聴者が少ないのでもっと宣伝必要。 5. 今後も高校生が先生で小学生を教えるといったパターン事業をぜひ展開していただきたい。
総合評価	A	

委員⑭		参加者が喜んで挑戦しているのがわかりました。指導担当の高校生は工夫して取り組み、楽しんでいて良い企画だと思います。腕自慢の参加者の将来のビジョンの一役になると期待したい。
総合評価	A	

委員⑮		夏休み子どもチャレンジやホールに工夫がありました。SMSも見えます。
総合評価	A	